

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科		環境園芸学部	
科目名称 [英語名称]	教育の方法と技術 [Educational Methods and Technique]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750066	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	上池 恭廣			学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2),2(1)(2)		
授業概要	<p>文部科学省は、「学校現場における諸課題の高度化・複雑化により、初任段階の教員が困難を抱えており、養成段階における実践的指導力の育成強化が必要」とし、教員養成課程において、教師の質を高める指導が必要としています。このことから本科目の授業を下記の目的で実施します。</p> <p>目的)本科目は、教員を志望する学生に、学校教育における教育の方法及び技術に関する知識・技能を身に付けることを目的とし、具体的には宮崎県の高校教育現場で農業教育31年間の経験を基に「授業力」「学級経営力」「子供への対応力」の3つの要素を「大学の学部の養成段階において身につけたい力」として実施します。具体的には、①授業に必要な技術(講義形式・授業の組み立て、アクティブラーニング、グループワーク・実験学習)などをテーマに応じて学ぶ。②学級経営をする上での資質能力。③子供・生徒への対応、子供と教師との距離感。加えて教師の危機管理能力。教師として備えておきたいモラルなど教師として身に付けるべき資質を提示していきます。</p>						
関連する科目	農業科教育法、理科教育法						
授業の進め方と方法	<p>①毎回授業の始めに過去の教員採用試験の問題(個人面接、集団面接、筆記試験)を、個人又はグループで考え発表させます。加えて毎授業二人ずつ一分間スピーチを行います。</p> <p>②毎回提出させるレポートの解答とそのまとめについて模範解答を提示します。</p> <p>③授業テーマについて一斉授業、アクティブラーニング、グループワークを組み合わせ対話的で深い学びを実践します。授業では一斉授業、グループワークを取り入れて課題解決を図ります。「グループワークにて協議した内容は、学生によるプレゼンテーションにて発表させます。</p> <p>④毎回、授業の最後に自己啓発、メンタル面の強化の意味も含めて元気・勇気をもらえる言葉を紹介しします。</p>						
授業計画	<p>1回:①教職を履修するにあたってのオリエンテーション、ガイダンス、心構え ②授業の基本的な進め方について確認及び講師、受講学生の自己紹介 ③教職に関する心構え等に関するアンケート実施。</p> <p>2回:①教職に関するアンケート結果報告(理想とする教師像、求められる教師像) ②31年間の教師生活で思う事、教職を目指す皆さんへ期待する講師の思い。</p> <p>3回:①教員採用試験の模範解答と解説 ②志望の動機の考え方、書き方</p> <p>4回:①教師としての危機管理とは(児童・生徒の命を守る危機管理</p> <p>5回:①集団討論(生徒指導、遅刻を繰り返す生徒の指導)②勉強と学習と学問の違い ③大学で学ぶ意味</p> <p>6回:①教師生活の「悩み」について ②教員採用試験までのスケジュールとその対応について</p> <p>7回:①授業のスタイル(一斉授業、集団授業・グループワーク、個別授業)の特徴と利点、欠点</p> <p>8回:①アクティブラーニング授業の考え方と進め方 ②グループワークの基本～</p> <p>9回:授業の基本的な技術④～実験学習・体験学習・調べ学習(図書室・ITの活用) デュアルシステム(学びながら働く、働きながら学ぶ)の紹介</p> <p>10回:授業計画(ステップ1)～学習指導要領と学習指導案の活用方法 教師の技術(話術)</p> <p>11回:授業計画(ステップ2)～授業の準備(教材研究の手法、板書計画等)</p> <p>12回:授業計画(ステップ3)～授業力を高める工夫(PDCAサイクルの実践) ICT教育</p> <p>13回:授業計画(ステップ4)～分かる授業を目指す授業評価(生徒の視点を生かした授業評価とは)</p> <p>14回:教師としての心構え(教師のコンプライアンスとは) 信頼される教師とは</p> <p>15回:教育実習の心構え 教育の方法と技術のまとめ</p>						
授業の到達目標	<p>1)本授業は、教育の方法と技術に関する基礎的な知識を修得し、教育現場で実践できるイメージづくりをしっかりとつくり上げることが到達目標とする。</p> <p>2)これからの社会を担う子供達に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。</p> <p>3)教育者としての心構え、教師の資質を養うと共に教育の目的に適した指導技術を理解し身につける。</p> <p>4)教育者になるという意欲、熱意を高める。</p>						
授業時間外の学修	<p>・授業の最後に次の授業内容を提示します。次の授業までに確認してください。</p> <p>・ホームプロジェクトとして、自分の家で作物の栽培をさせます。そしてその結果をプレゼンテーション形式で児童・生徒に教えるという模擬授業を行います。栽培する作物等を後期の授業開始日までに決定しておいて下さい</p>						
課題に対するフィードバック	小テスト、課題レポート、最終レポートは評価後コメントを入れて返及び解説をします。	評価方法		<p>・以下の項目に基づいて評価します</p> <p>1.毎授業のレポート:40点</p> <p>2.学習意欲(授業中)、発表等:40点</p> <p>・最終レポート:20点</p>			
テキスト	講義資料は南九州大学ユニバーサルパスポートにて毎回講義前日までに配布します。学生の皆さんは、講義時間までにプリントアウトし講義に持参する。						
参考書	<p>中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 新しい時代の教育の方法 ミネルヴァ書房</p>						
備考	<p>・農業高等学校勤務31年間の実務経験を有する教員が授業を担当します。</p> <p>・毎講座のレポートは必ず期限通りに提出下さい。レポート提出方法はパソコンでのメール提出とします。</p>						